

【つなぐ】～地域の方々と医療をつなぐ、信頼される病院を目指して～

「腸活」で腸内環境を整えて、免疫力を高めましょう！

腸活しましょう！

「腸活」とは、腸内環境を整えることです。腸は食べ物を消化して栄養を吸収、そこで出た老廃物を排出してくれます。これ以外にも「免疫機能の調整」や「神経伝達物質の合成」の役割があります。病原菌やウイルスを排除する免疫細胞が存在し、幸せホルモンを合成するのも腸と言われています。腸内細菌を正常に維持するためには、腸内細菌に占めるビフィズス菌や乳酸菌(発酵食品)などの善玉菌を増やすことが大切です。また、その生育に必要なエサ(食物繊維)を十分に摂る必要があります。



【石井 栄養室長】

発酵食品



食物繊維



体に良いからとヨーグルトや納豆、塩分の多いキムチなどを多く食べる等偏った食事では腸内環境どころではありません。

3食バランスの良い食事を心がけましょう！

第一種ME技術者 臨床ME専門認定士

臨床ME専門認定士とは、第1種ME技術実力検定試験に合格し、「ME機器または関連設備の保守・安全管理を中心に総合的に管理する専門的知識・技術を持ち、他の医療従事者に対し、ME機器および関連設備に関する教育・指導ができる」と定義されています。

澤田 睦
MUTSUMI SAWADA

「患者様、医療スタッフ双方にとってより良い医療機器環境の構築に努めています。今後は設備面の管理の向上にも尽力できればと思っています。」

皆様にはあまり聞き覚えのない職種かと思いますが、臨床工学技士とは生命維持装置の保守管理、操作等を行う医療系国家資格となっております。当院で使用する医療機器の保守管理、心臓カテーテル、内視鏡検査、心臓ペースメーカー、人工血液透析に関わる医療機器管理、操作等を行っています。

臨床工学技士 -Medical Engineer-

国家試験を合格することはもちろんですが、職場配置後に自己研鑽と医療の質、向上を含めて各自で各種学会、団体の認定する資格取得に向けて日々努力しています。今回はその中でも難易度が高いとされる資格を有する当院における臨床工学技士の紹介をさせていただきます。

「不整脈治療を行っている患者様に寄り添い患者様第一で日々、業務にあたっています。不整脈治療最後の砦として頑張っていきます。」

MITSUAKI TOMIZAWA
富澤 光昭

不整脈治療専門臨床工学技士とは、「不整脈治療を行う患者様のために使用する医療機器の操作方法や適切に使用できているかなどの知識や技術を持った人を認定する資格」と定義されています。

不整脈治療専門臨床工学技士

認定理学療法士(運動器)

認定理学療法士とは日本理学療法士協会より「特定の理学療法分野においてより水準の高い理学療法を安全かつ適切に実践できるレベル」の理学療法士が有することができる資格と定義されています。私の場合は運動器の疾患、すなわち整形外科疾患に精通した理学療法士であるということになります。

松本 直也
NAOYA MATSUMOTO

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)

JSPO-ATは日本スポーツ協会(旧日本体育協会)公認の資格で、スポーツ外傷・障害のリハビリテーションや予防(再発予防を含む)、あるいはパフォーマンス向上のためのトレーニング提供を主な役割とします。

理学療法士 -Physical Therapist-

診療放射線技師に関連する認定資格は、画質管理や装置管理、撮影技術や画像読影などの専門知識・技術を講習会で受講し、認定試験に合格することで取得できます。その認定資格の一つに『検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師』というのがあります。



当院で働く 頼れるスタッフ紹介

当院では今回紹介した資格の他に多くの認定資格を有した様々な職員が在籍しています。病院に来院、入院される患者様のため、医療の質と安全を第一に考え日々努力してまいります。

検診マンモグラフィ撮影認定 診療放射線技師

この資格は、マンモグラフィの診断精度を一定水準に保つことを目的に、講習会・筆記試験を行っています。この試験の評価はA～Dの4段階に分けられ、AまたはB評価の人が『検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師』として認定されます。現在当院ではこの認定資格を取得している女性技師が5名在籍しており、マンモグラフィの撮影業務については必ず女性技師が対応するようにしています。



診療放射線技師 -Radiological Technologist-

当院の健診センターは『マンモグラフィ検診施設画像認定』を取得しており、撮影装置や読影用画像モニターの日常管理を技師が定期的に行うことで、安心してマンモグラフィ検査を受けて頂けるよう努めています。

総合内科に新しく宮本医師が着任しました

初めまして、6月から総合内科に着任した宮本典子と申します。総合内科は「身近にあって、何でも相談に乗ってくれる総合的な医療」を提供します。

外来では、動悸や失神、痛み、下肢のむくみ、呼吸が苦しいなど様々な症状の対応、高血圧や糖尿病など生活習慣病の治療、認知症をめぐる相談、インフルエンザや肺炎球菌ワクチンの接種、胃ろうの交換など日常的に起こる健康問題の多くに対応します。対応できない問題の場合は、適切な専門科や高次医療機関に紹介します。何科にかかれば良いか分からない場合も相談に乗ります。

入院では、肺炎などよくある感染症や、専門的治療が難しい高齢者の病気の治療をしています。退院した後、病気や障害を持つ人が地域で安心して生活できるよう、地域の医療・福祉・介護と協力して支援します。どうぞお気軽にお声掛けください。よろしくお願いいたします。



「医療講演」開催のお知らせ in ライフコミュニティ西馬込

池上総合病院 第14回 医療講演

【新型コロナとの共存時代】

雨にも負けず 風にも負けず
コロナにも負けぬ

～丈夫な体を維持する方法～

ご予約はこちら



日時:9月26日(土)10:00～11:30
(開場/9:45～講演終了後質疑応答あり)



場所:ライフコミュニティ
西馬込 特別研修室
[都営地下鉄浅草線「西馬込駅」下車(南口出口)徒歩1分]
講師:飛田 浩輔 医師(外科)



ご予約・お問い合わせ先: 03(6410)9506 渉外課

医療法人社団 松和会 池上総合病院

〒146-8531 東京都大田区池上6-1-19 TEL03-3752-3151(代) FAX03-3752-2612